

# 若手研究者のキャリア支援を強化!

## 研究者向けサイトを活用してキャリアアップを目指そう

一流の研究者になるには、多くの研究機関を渡り歩いて業績を磨くことが大切だが、それは若手研究者の身分の不安定さにもつながってしまう。JSTではこれまで、キャリア支援情報サービス「JREC-IN (ジェイレック・イン)」や研究者総覧データベース「researchmap (リサーチマップ)」などのウェブサイトを公開し、研究者を支援してきた。2014年10月にはJREC-INをリニューアルし、新たに「JREC-IN Portal (ポータル)」を開設した。リサーチマップとの連携を強化し、研究職の階段をのぼるために必要な情報を一つのサイトに集めるなど使いやすくし、若手研究者必携のキャリア形成ツールにした。



JREC-IN Portal求人機関説明会の様子。

### 研究にかかわる人を支える必携サイトを目指して

日本が国際競争力を高めるには、長期的な視野で優れた人材を育成することが重要だ。しかし、博士号を取得しても、研究者としてすぐに安定したポストに就ける人は少ない。3年や5年程度の研究助成などで雇用される研究員、いわゆる「ポスドク」を遍歴して業績を積み、助手や助教などを目指すことになる。契約期限までに次のポストを探さねばならないポスドクの数はこちら数年増加しており、2014年の時点で、1万7000人近くに達している。ポスドクの高齢化も進み、35歳以上が4割近くを占める。こうした状況に、博士課程へ進むこと

を危惧する学生も少なくなく、進学者数も減少している。これを打破するには、若手研究者などの蓄積してきたキャリアや高い専門性を生かせる職場を数多く紹介し、社会の多様な場での活躍を後押しする取り組みが求められている。

JSTでは、2001年より「JREC-IN (Japan REsearcher Career Information Network)」を運用してきた。国内最大級の研究人材キャリア支援サイトで、対象を研究者や研究支援者、技術者などの研究にかかわる人に特化しているのが特長だ。

登録求人機関は日本の大学や、国や地方自治体の研究機関のほとんどを網羅している。求人公募情報は、教授、准教授などの教員職をはじめ、ポスドク、技術者など、

掲載数は年間1万6000件以上にのぼる。

誰でも無料で利用できる。分野や職種、勤務地などで検索すれば、希望に沿った求人情報を見つけ出せる。登録した条件に合う新着求人情報をメールで知らせる「マッチングメール」機能も装備している。

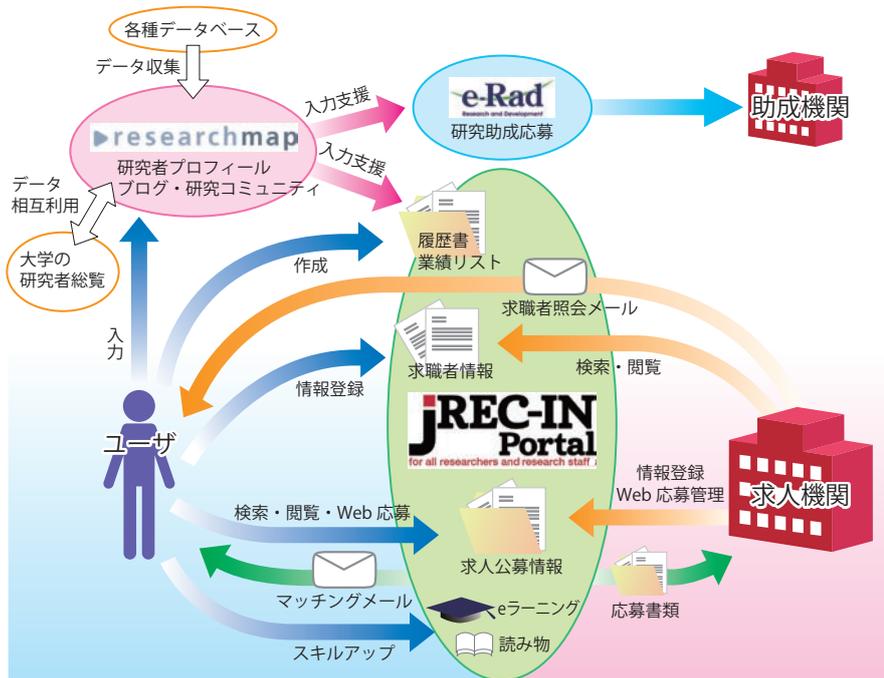
「もしJREC-INがなければ、特に大学などに職を求める人は、各大学や研究機関などのウェブサイトを個別にチェックするしか手段がなく、大幅な手間と時間がかかっていたことでしょう。次の職を探している人にとって、なくてはならない存在です」と担当者は説明する。

そんなJREC-INが昨年10月、キャリア支援の強化を図るため、「JREC-IN Portal」として生まれ変わった。最大のポイントは、JSTが運用するリサーチマップとの連携強化だ(左図)。

### 国内最大級の研究者総覧

リサーチマップは、国内最大級の研究者総覧データベースで、登録している研究者数は、約24万人に及ぶ。大学や研究機関、民間企業の研究者の現在の所属や連絡先、研究分野や経歴、業績、取得特許などを閲覧できる「研究プロフィール」機能を備えており、研究者へのコンタクトや情報交換の場として活用されている。

日本を拠点に活動している研究者なら、「JREC-IN (イーラド、府省横断で研究開発費の申請から報告までを管理するシステム)」の研究番号を使って、あるいは、登録研究者の招待によって誰でも登録できる。紹介者がなければJSTによる審査を経てIDが





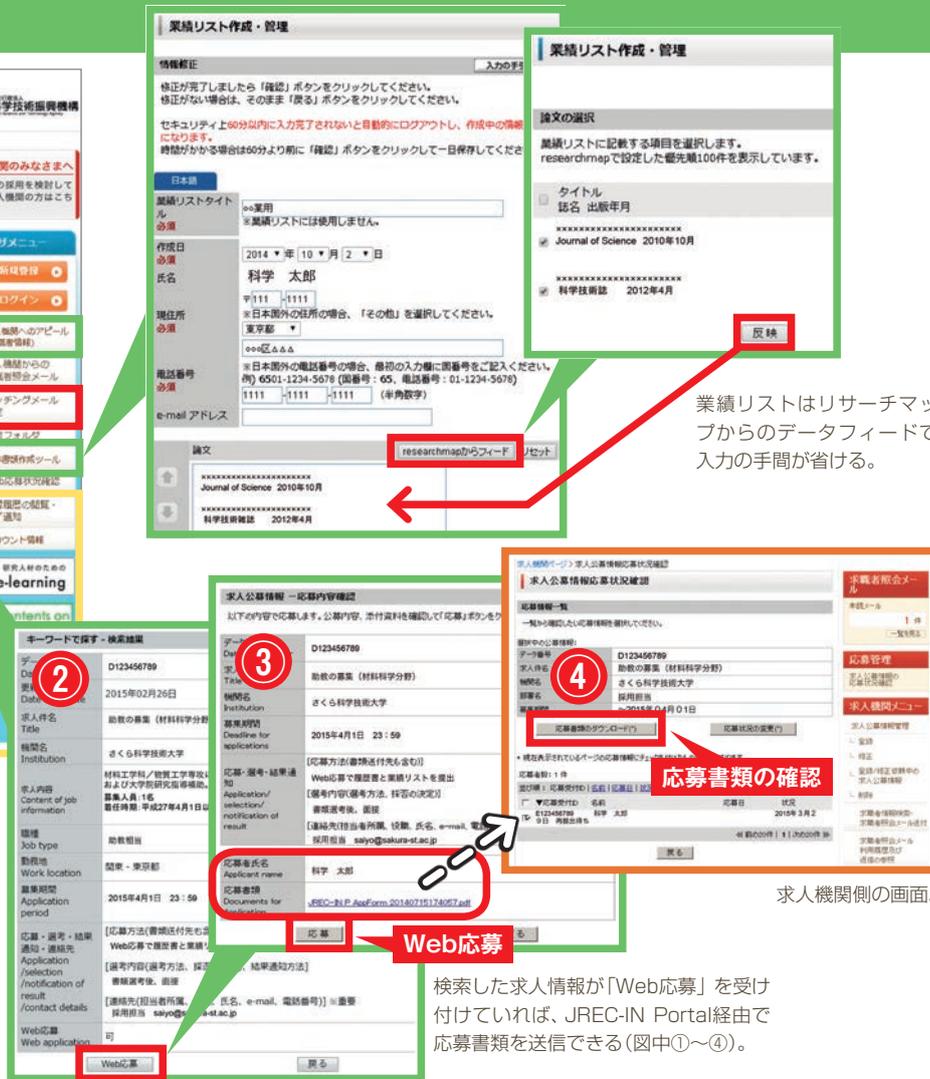
JREC-IN Portalのトップ画面。求人情報の検索・入手(赤枠)だけでなく、応募のための機能(緑枠)や各種コンテンツ(黄色枠)が1つのサイトに集められている。

発行されるため、情報の信頼性は高い。

「業績の追加候補を各種データベースから収集できるなど、情報の更新が簡単に行えるので、名刺や履歴書代わりに利用している研究者が数多くいます。e-Radに、業績データなどを送って申請書作成を支援する機能もあり、この連携機能を利用する助成制度を増やそうと尽力しています。研究の道を歩み始めた人には、最初に登録していただきたいデータベースです」と担当者は話す。

## 求人情報の応募も簡単に

JREC-IN Portalでも、リサーチマップに登録してある経歴や業績を求人情報の応



業績リストはリサーチマップからのデータフィードで入力の手間が省ける。

応募書類の確認

Web応募

検索した求人情報が「Web応募」を受け付けていれば、JREC-IN Portal経由で応募書類を送信できる(図中①～④)。

募書類に自動入力できるようになった(上図上側)。求人側機関が受け付ける応募書類の様式は独自の指定が多くバラバラで、場合によっては提出先に合わせて数十ページも書式を調整する必要があり、求職者の大きな負担となっていた。そこで登場したのが、JREC-IN Portalの「応募書類作成ツール」が提供している履歴書や業績リストの統一様式だ。まだ数は少ないが、東海大学などJREC-IN Portal形式の応募書類を標準様式として採用する大学も増えて

きている。「Web応募」を受け付けている求人機関には、サイト上からの応募も可能となった(上図下側)。ポータル化に伴い、求人情報の提供だけでなく、応募までを一貫して支援できるようになったわけだ。

「大学の採用担当者には、統一様式の書類を活用してほしいので、普及説明会を各地で開催しています。応募側の大学院生やポスドクにもポータルを広く周知したいですね」と、担当者は語る。

加えて、JREC-IN Portalでは新たに、研究者の就職活動や研究生生活の体験談などのキャリア形成に役立つ各種コンテンツ、さらに、セミナーやイベント、研究助成金などの募集情報、e-ラーニング教材にもアクセスできる。まさに研究にかかわる人のキャリアや能力開発を支援する総合的なポータルサイトに生まれ変わったのだ。

## リサーチマップを長年活用、利便性向上に期待

「科学研究費や助成金の申請・報告をする際には、たくさんの書類の作成に追われ、研究者にとっては大きな負担です。e-Radとリサーチマップの連携機能は、そんな研究者の手間を省く重要なインフラです。残念ながら、応募したい助成制度で連携機能を活用するものがまだないので、本来の研究に集中できるよう、1日も早い普及を待っています」。



宮川 剛 みやかわ つよし  
藤田保健衛生大学  
総合医科学研究所  
システム医科学研究部門教授

「サイトの機能がフル活用できるよう、今後さらに各機関や省庁と協力・連携し、研究活動の支援に寄与していきたいと考えています。(リサーチマップ担当)」

JREC-IN Portal  
<https://jrecin.jst.go.jp/>  
 リサーチマップ  
<http://researchmap.jp/>